

# 人間の土台、足裏不安定症候群！

現代人に激増する足裏の異常「外反母趾」「指上げ足(浮き指)」  
その異常に伴い、ひざ・腰・首の慢性痛や自律神経失調症・うつ・パニック症が激増！

◆ 足裏から全身のバランスを整えて、正しい歩行で健全な骨格を育成



## 笠原 巖(かさはら いわお)

外反母趾研究家/過労性構造体医学創始者  
笠原接骨院院長  
1947年生まれ

### <主な著書>

つらい自律神経失調症は足と首から治す/  
外反母趾切らずに治せる、自分で治せる(主婦の友)  
切らずに治す外反母趾(アスペクト)  
自分で治すひざの痛み フットワーク出版社  
ファイナルフットケア101の知恵(東京FM出版)  
過労性構造体医学(医道の日本社) 他多数



これまでの約35年に及び初検だけで、10万人以上の慢性痛や自律神経失調などの不調を足裏のバランスと関連付けてみてきた。その治療と研究実績から、重力医学となる「過労性構造体医学」を解明。その普及を目指し、医師や柔整師、治療家などをはじめ、大手企業、地方自治体、PTA、スポーツ指導協会、一般向けセミナーなど全国各地で精力的に行っている。また、技術伝授のスクールも定期的に行っている。特に、新しい理論を応用した多数の特許商品を開発し、通販でロングセラーとなる。テレビや雑誌などマスコミでも注目を集めている。

笠原先生のホームページ『本4冊分の情報が満載』

<http://www.ashiuratengoku.co.jp> 足裏天国カサハラページ

時代の変化、ライフスタイルの変化に伴って、現代人の体にも大きな異常が起こっています。その異常とは「外反母趾」や「指上げ足(浮き指)」に代表される足裏の異常です。重要なことは、その足裏の異常に伴って現代人が訴える主訴(痛みや神経不調・疾病)にも大きな変化が起きてきたのです。それは50年前にはあまりなかったもの、極めて少なかったものですが、いま現代人に激増し、主訴となっている症状で次の通りです。①足・ひざ・腰・首などの慢性的な痛み ②自律神経失調症状(うつ・パニック症など) ③生活習慣病(メタボリック・糖尿病・高血圧など)。今、このことに気付かなければ健康や医療が行き詰ってしまうのです。人間も土台となる足裏のバランスから健康や予防医学を追及しなければならない時代が来たのです。

現代人の足裏のバランスを「テーピングの原理」で整え、足指を使って正しい歩行を促すことが重要ポイントなのです。このテーピングの原理を靴下に編みこんだのが、特許の『3本指テーピング靴下』であり、35年余りに及び10万人以上の足をみてきた治療実績と研究から生まれでたものです。



### 足裏のバランスを整えるテーピングの原理



### ■講演実績■

- 2008年度：約58件
- (●医師・柔整師・治療家向けセミナー/●企業向けセミナー/●一般市民向け講演/●PTA・教育関係セミナー/●地方自治体セミナー) ●他多数講演実績有り。

### ■テレビ・雑誌掲載■

- テレビ：はなまるマーケット、あるある大辞典、目覚ましテレビ 他多数。●雑誌：「健康」「わかさ」「安心」「自然と健康」「AneCan」「マキア」「美的」「saita」「hanako」「ゴルフダイジェスト」「ターザン」「週刊女性」他多数。

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町121大川原ビル2階

カサハラフットケア TEL 045-861-8558 FAX 045-861-3664